

市町連

MORIOKA

盛岡市町内会連合会広報

No.116 令和7年
7月号

年3回：7月・11月・2月発行

発行・編集
盛岡市町内会連合会
盛岡市若園町2-2
(盛岡市総合福祉センター)
TEL 623-4690
FAX 623-4699
印刷/杜陵高速印刷株式会社

令和7年度通常総会

去る5月14日、県民会館中ホールにおいて、来賓に内館茂盛岡市長様、遠藤政幸盛岡市議会議長様、谷藤裕明盛岡市社会福祉協議会会長様をお迎えし、令和7年度盛岡市町内会連合会通常総会を開催しました。

総会には会員137名(委任状180名)が出席し、すべての議案が原案のとおり承認されました。

<承認された議案>

- ・令和6年度事業報告並びに収支決算
- ・令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)
- ・令和7年度役員体制について



ごあいさつ

会長 小枝指 好夫

皆様には、ご多用のところ令和7年度盛岡市町内会連合会通常総会にご出席いただき、ありがとうございます。

市民生活の向上と市民福祉の推進を図るとともに、市勢の発展に寄与することを目的に創設した当連合会は、昨年60周年の記念の年を迎え、記念事業はすべて予定どおり実施することができました。改めて、ご支援・ご協力を賜りました関係機関の皆様、会員の皆様に心より感謝を申し上げます。

町内会は、少子高齢化や価値観の多様化等に起因する役員の担い手不足など、全国的に難しい問題に直面しております。盛岡市の「町内会結成率」、「町内会加入率」は全国と比較して高い水準にはありますが、課題解決に向けて早急な対策が必要であるものと認識しております。

「盛岡市地域づくり協働推進計画」の基本理念である「盛岡が盛岡らしく在り続ける」ため、市と危機感を共有しながら未来志向の活動を推進してまいりますので、皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

盛岡市長 内館 茂 様

皆様には市政の推進に格別のご理解、ご協力をいただくとともに、さまざまな活動を通じて明るく住みよいまちづくりにご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

市では、令和7年度までを計画期間とする「盛岡市地域づくり協働推進計画」に基づき、さまざまな施策を展開してきましたが、少子高齢化や担い手不足など町内会を取り巻く環境は変化してきています。次期計画の策定に当たっては、持続可能な地域活動への取り組みを強化してまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

市といたしましては、盛岡の魅力をさらに磨き上げ、広く発信しながら、市民が誇りを持てるまちづくりに取り組み、「より優しく、より強い、地域経済が元なまち盛岡」を作り上げていく所存ですので、引き続きお力添えを賜りますようお願いいたします。



盛岡市議会議長 遠藤 政幸 様

盛岡市は、岩手県の政治・経済・文化の中心として着実な発展を続けてまいりました。これもひとえに、各町内会の皆様方が市民生活の向上と地域福祉の推進のため、各般にわたる活動を展開してこられたご尽力の賜であり、心から敬意を表する次第です。

近年、地域の担い手不足や地域住民の連帯感の希薄化など、地域を取り巻く環境は大きく変化し、課題が多様化、複雑化しております。

誰もが住み良い地域づくりを進めていくためには、行政と町内会・自治会の皆様が一体感をもって連携・協力することが、今後ますます重要になるものと認識しております。

市議会としても地域の皆様の声をお聞きしながら、住み良い地域社会の実現に向けて、今後も力を尽くしてまいります。



盛岡市社会福祉協議会会長 谷藤 裕明 様

近年、私たちを取り巻く環境が大きく変化する中、地域における生活課題は以前に増して多様化、複雑化しており、幅広い職種、関係団体の連携が求められております。

このような中、町内会・自治会の皆様には、さまざまな課題への対応のみならず、要配慮者への見守りや災害への対応など住民福祉の向上に大きく寄与しており、その役割はますます重要になっております。

市社会福祉協議会では、個別の困りごとへの相談や居場所づくり支援など、地域住民のつながりの再構築に向けた取組を進めていますが、今後も皆様とともに「誰もが安心して暮らせる地域社会」の実現に努めてまいりますので、なお一層のお力添えをお願いいたします。



令和7年度 盛岡市町内会連合会事業計画

SDGs－国連が「持続可能で多様性のある社会」を実現するために掲げた17の目標には「すべての人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくりを」「パートナーシップで目標を達成しよう」など、私たちが地域で取り組んでいる活動と共通するものが少なくありません。

視点を変えれば、地域に根ざした活動なしに国際社会が掲げる大きな目標は実現し得ないとも言えると思います。

少子高齢化や価値観の多様化により、役員の高齢化や担い手不足など難しい課題に直面していますが、60年にわたり積み上げてきた実績を貴重な財産としながら、時代の変化に的確に対応した未来志向の組織運営を図っていく必要があります。

今年度も関係機関・団体との連携を図りながら、「盛岡市地域づくり協働推進計画」に掲げる“盛岡が盛岡らしく在り続ける”ために、地区組織や各部会を中心に各般の事業に取り組んでまいります。



会長 小枝指 好夫
(上田地区)



副会長 伊藤 吉郎
(青山地区)

総務・市民生活・広報情報部会担当



副会長 中村 一
(仙北地区)

地域振興・防犯防災交通安全部会担当

総務部会

部会長 四戸 春雄
(太田地区)



事業計画に基づく運営管理と効率的な執行に努めます。

- ①通常総会、役員会、理事会等の開催
- ②表彰式の開催(令和7年10月15日)
- ③新年交賀会の開催(令和8年1月15日)
- ④玉山地域自治会連絡協議会との情報交換会の開催
- ⑤「緑の募金活動」への協力

市民生活部会

部会長 大坪 靖夫
(大慈寺地区)



盛岡市ごみ減量化行動計画に基づき、ごみ減量資源再利用運動を推進します。

- ①ごみ分別処理の啓発指導
- ②ごみ減量資源再利用地区懇談会の開催(26地区)
- ③もりおかエコライフ2025の開催(市共催)
- ④きれいなまち推進協議会との合同研修の開催

福祉厚生部会

部会長 泉澤 力
(城南地区)



少子高齢化へと社会が大きく変化する中で、地域福祉に関する研修等に取り組まします。

- ①部会主催の研修会の開催
- ②盛岡市社会福祉大会への参加

地域振興部会

部会長 堀合 新吾
(山岸地区)



町内会・自治会、関係機関等と連携し、住みよい地域づくりを推進します。

- ①まちづくり懇談会の開催(15地区・市共催)
- ②コミュニティリーダー研修会の開催(市共催)

防犯防災交通安全部会

部会長 長岡 利明
(本宮地区)



「安全で安心できる住みよい地域社会」を目指し、関係機関等と連携して活動に取り組めます。

- ①自主防災組織づくりの促進及び防災体制の充実と防災意識の向上
- ②部会主催の研修会の開催
- ③「防犯・子ども見守りボランティア」の活動強化及び多様化する犯罪・交通事故防止対策の取り組み支援
- ④「自主防災・交通安全・自主防災組織リーダー」等講習会及び行政主催の研修会等への参加協力

教育振興部会

部会長 増田 文男
(緑が丘地区)



「たくましく生きる盛岡の子」を育むため、地域の役割と責任を果たす取り組みを推進します。

- ①市教育振興運動第12次5か年計画に関する啓発活動及び参加促進
- ②教育振興運動ブロック研修への参加
- ③部会主催の研修会の開催及び他団体主催事業への協力

広報情報部会

部会長 伊達 康子
(青山地区)



各町内会・自治会に幅広く情報を提供するため、各地区組織の協力を得ながら計画的に広報を発行します。

- ①広報「市町連MORIOKA」の発行(7月、11月及び2月の年3回・班回覧)



令和7年度 市町連役職員

顧問 平井興太郎 (山王)
 会長 小枝指好夫 (高松二丁目)
 副会長 伊藤 吉郎 (青山一丁目)
 [担当部会: 総務・市民生活・広報情報]
 中村 一 (仙北三丁目組町)
 [担当部会: 地域振興・防犯防災交通安全]

常務理事 細川 恒 (上田堤)
 監事 遠藤 政幸 (西青山三丁目)
 岩野 光進 (馬場町)

【総務部会】
 部会長 四戸 春雄 (中新田)
 副会長 後藤百合子 (加賀野一丁目)
 部員 吉田 公一 (仁王三小路)
 伊勢 裕次 (住吉町)
 菊池 健 (浅岸)
 千葉 治穂 (東安庭一丁目)
 藤村貴美夫 (大沢)

【市民生活部会】
 部会長 大坪 靖夫 (神子田町)
 副会長 鈴木 正 (東安庭)
 部員 川村 秀文 (四ツ家)
 宮本 岩保 (東松園四丁目)
 福土 信幸 (松尾町)
 村山 茂 (向中野)
 藤澤 由蔵 (根田茂)

【福祉厚生部会】
 部会長 泉澤 力 (新庄)
 副会長 高橋 章 (厨川一丁目第二)
 部員 新田久美子 (大通三丁目第二)
 玉山知瀬子 (小鳥沢)
 田沼 徳一 (上厨川)
 中村 英俊 (仙北三丁目)
 高屋敷正一 (和野)

【地域振興部会】
 部会長 堀合 新吾 (御弓町)
 副会長 中澤 正博 (中川町)
 部員 伊藤 純 (高松第一)
 菊池 義高 (月が丘三丁目)
 天野ゆり子 (下ノ橋町)
 松岡 博 (金蔵)
 佐藤 長武 (下久根)

【防犯防災交通安全部会】
 部会長 長岡 利明 (本宮一丁目)
 副会長 井上 行男 (桜台)
 部員 熊谷 俊巳 (黒石野)
 西 光栄 (西仙北二丁目)
 佐々木信好 (西太田第一)
 川村 圭司 (河南)
 田山 幸男 (寺の下)

【教育振興部会】
 部会長 増田 文男 (黒石野平地区)
 副会長 伊勢 六郎 (津志田南)
 部員 鎌田まき子 (上田第一)
 神部 伸也 (みたけ中央)
 松井 良治 (緑町)
 小西 征史 (城西町)

【広報情報部会】
 部会長 伊達 康子 (月が丘一丁目)
 副会長 平野耕一郎 (夕顔瀬町第一)
 部員 木井さくや (三ツ割鉢の皮)
 石井 宗夫 (つなぎ)
 畠山 隆志 (黒川南)

事務局員 工藤 香子 (みたけ三丁目)

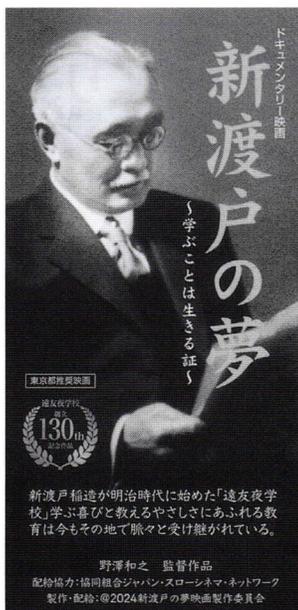
令和7年度 まちづくり懇談会の開催

市と市町連の共催による「まちづくり懇談会」が開催されています。

今年度開催予定の15地区のうち、すでに中野地区及び上米内地区では5月に開催されましたが、今後予定されている地区は表のとおりです。地域の皆様には積極的なご参加をお願いします。

(6月10日現在)

No.	地区名	会場	開催日時
1	中野	中野地区活動センター	5月26日(月) 開催済み
2	上米内	上米内老人福祉センター	5月27日(火) 開催済み
3	東厨川	厨川老人福祉センター	7月3日(木) 14:00
4	仙北	仙北地区活動センター	7月10日(木) 18:30
5	山岸	山岸地区活動センター	7月14日(月) 14:00
6	加賀野	加賀野老人福祉センター	7月22日(火) 14:00
7	玉山・葦川	玉山地区公民館	7月25日(金) 18:30
8	杜陵	杜陵老人福祉センター	8月6日(水) 14:00
9	飯岡	飯岡農業構造改善センター	8月19日(火) 14:00
10	好摩	好摩地区公民館	8月22日(金) 18:30
11	本宮	本宮地区活動センター	9月2日(火) 14:00
12	乙部	乙部農業構造改善センター	10月7日(火) 15:00
13	見前	見前地区公民館	10月21日(火) 17:00
14	城南	山王老人福祉センター	11月18日(火) 14:00
15	太田	太田地区活動センター	11月19日(水) 18:30



「新渡戸の夢」盛岡市上映会に協力しました。

去る6月13、14日の二日間、盛岡劇場においてドキュメンタリー映画「新渡戸の夢」盛岡市上映会が開催されました。

当連合会は、趣旨に賛同して実行委員会に参画し、多くの市民の方に鑑賞いただきました。各町内会の皆様のご協力ありがとうございました。

～気持ちよく暮らせるために～ 緑が丘一丁目北区町内会(緑が丘地区)

当町内会は、高松公園のこがねパーク高松(旧盛岡競馬場)の西側に位置しています。昭和52(1977)年に町内会が発足し、上下水道、道路舗装など生活環境整備に取り組むことからスタートしました。生活環境が整備されると同時に住民同士の交流も活発に行われ、20年史を見ると各々の行事に参加している人数は今では想像もつかないほ



寺子屋講座「JAZZを聴く会」

ど多かったようです。そして平成10年頃には現在とほぼ同数の170世帯に達していました。

しかし役員の子世代交代がないまま令和に入り、会長と重要な役割を担っていた総務部長が同時に倒れ、町内会の全体像を理解している人がいない状態に陥りました。そのような中で、部分的でも関わっている人が毎月集まり、各部の役割を見直し、新たに応援してくれる人を加え、徐々に体制が整いました。また、この時期はコロナの蔓延と重なり、新たに生まれ変わる準備期間にできた点は幸運だったと思います。

町内会の役割は住民の皆さんの「気持ち良い暮らし」に幾分でも役立つことと考え、主な行事はバス通りや公園の清掃、日帰りお楽しみ旅行、健康講座、寺子屋講座(懐かしい歌を歌う会・JAZZを聴く会・ホーム Spanien 見学会)、グラウンドゴルフ大会などです。毎月発行の会報と公式LINEの両輪で住民の皆さんとコミュニケーションを取りながら、お互いが顔見知りとなり、挨拶を交わせる「緩い関係性づくり」を目指しています。(藤原 徳雄 記)

市町連広報
あのまち
このまち
令和7年7月号
No.116

歴史と伝統を未来へ 仙北一丁目第一町内会「青物町」(仙北地区)

仙北一丁目第一町内会「青物町」は、今から約200年前の江戸時代にできた古い町で、北上川、駒形神社とともに伝統文化を受け継ぎ歴史が作られています。

旧盆の8月16日に行われる「舟っこ流し」は昔から親しまれてきた行事で無形民俗文化財の指定を受けています。子供からお年寄りまでたくさんの方が参加して舟を作り、飾り付け、千羽鶴を折り、短冊をつけるなどの仕事を分担します。そして当日は、舟っこ流しを見に来られる皆さんのために、町内をお披露目しながら会場の川沿いまで引いていきます。青物町の舟っこは、お盆で帰ってこられたご先祖様たちの精霊が帰っていく舟を間違わないように、昔からの飾り付けを守って作られています。竜舟の背に乗り浄土へ帰っていかれる精霊方に手を振り、来年のお盆にまた会えるようにと願い流します。

今年426年目を迎えた駒形神社は、毎年9月8日例大祭を駒形町と合同で開催します。子供神輿の町内運行や両町



完成した「舟っこ」を囲んで

内有志で作製した特設ステージの歌謡ショー・出店と、たくさんの方が集まり賑わいます。

また、10月、仙北地区大運動会は12町内会合同で老若男女、和気あいあいと競技に楽しんでいます。先輩方が受け継いできた町内会活動は今後次世代にも継承し楽しく取り組んでいきたいと思っています。(藤村 均 記)

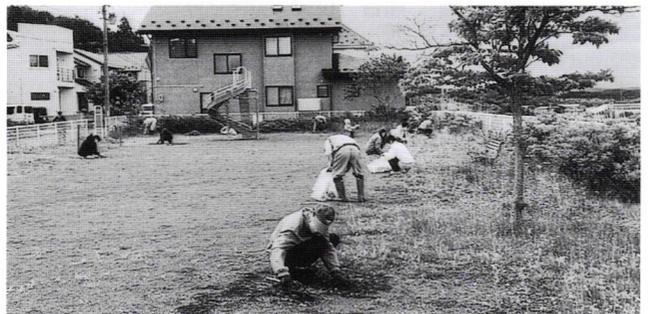
安全で快適なまちづくり 盛岡南ニュータウン町内会(乙部地区)

盛岡南ニュータウンは乙部地区黒川16地割の区域で、乙部中学校の後ろの小高い山に面した団地です。

町内会の会則が施行された平成13年は10世帯にも及ばない小さな団地でしたが、現在では52世帯で成り立っています。世帯数の増加に伴い、平成30年度からは町内を4班に分け、班長がそれぞれ防災防犯、会計、環境衛生、育成の専門部を兼務して活動しています。会長、副会長を含めた役員は住所の番地順に1年ごとにローテーションしています。

* 事業の内容

- ① 通常総会
- ② 団地内側溝の泥上げ(4月)
- ③ 団地内除草活動(6, 7, 9月)
- ④ 乙部地区体育祭への参加(8月)
- ⑤ 乙部地区敬老会への参加(9月)



団地内の除草活動

このように、町内会の主な活動は清掃・美化活動です。他の町内会のように神社のお祭りやみんなが集まる飲み会などはありませんが、清掃活動の参加率は高く、皆さん一生懸命に活動してくれます。これから盛岡市役所道路管理課さんの協力をいただくなどしながら、みんなの力を合わせて、できることに確実に取り組んでいきたいと思っています。(三浦 信治 記)